



食料自給率向上に向けた農業施策の取組を
池田 尚江（創風）



問／世界的に穀物の流通が不安定化する中で、今後の食料自給率向上に向け、食料生産基地である本市としてどのような農業施策に取り組んでいくか。

答／特に先進諸国の中でも食料自給率の低い我が国において、食料の安全保障は重要と認識している。本市は食糧生産基地であり、水稲作付面積は全国第4位、食味「特A」の一大産地である。作物では食用米以外に、飼料米や小麦に替わる米粉需要への対応、平場の大豆、中山間地域では「ソバ」、そして園芸との複合経営など、当市の食糧生産能力を維持・向上させ、食料自給率の向上に寄与していきたい。

中山間地域の農地保全に向けた支援を

問／中山間地域において人口減少、特に高齢化に伴う農業後継者不足の問題が進む中で、近い将来、守る農地と自然に戻す農地を選択しなければならぬ時期が来ると思うが、市の考えは。

答／中山間地域を抱える農業者が参画するワーキングショップ「みらい農業づくり会議」で、後継者の確保や、作物を生産する農地と保全する農地の明確化、農地保全の方法等を地域と一緒に検討する。中山間地域の農地保全は、国土の保全や水源涵養に重要であり、地域の将来像実現に向け、国の施策も活用して支援していきたい。



eスポーツで交流人口拡大・経済効果の向上！
小山 ようこ（創風）



問／eスポーツは、大会やイベントの開催による集客拡大が期待される。本市においても交流人口の拡大や経済効果を高めていくため、eスポーツの普及に取り組むことが必要と考えるが、市政において活用する考えはないか。また、eスポーツに関する部署を設置してはどうか。

答／国内eスポーツの市場規模は年々拡大し、2024年には200億円を超える規模になるとの報告もある。本市においても、JME DAWNの運営事業者が、eスポーツ大会の開催を検討しているほか、市内の高校がeスポーツを取り入れた部活動の開始を予定するなど、eスポーツの普及に向けた動きがある。交流人口の拡大や地域経済への波及効果なども期待できることから、引き続き先進地視察などによる情報収集を進め、オンラインのみでも完結するeスポーツの特性も踏まえながら、行政におけるeスポーツの導入やその手法、eスポーツに関する部署の設置について研究していく。

男性用トイレにサニタリーボックスの設置を

問／病気が原因で尿漏れパットを使用している方などのために、公共施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置してはどうか。

答／安心して外出し、捨てる場所に困らないよう、利用者の多い施設から順次設置していく。



市道の修繕について問う
山田 忠晴（公明党）



問／市道の修繕要望の件数を聞きたい。

答／令和3年度は市全体で1,099件である。

問／小規模な修繕等では、どのような流れで積算や見積り、施工までを行っているか。

答／通常の修繕については、2者以上から見積書を徴収した上で随意契約により請負者を決定しており、3週間程度の事務手続を経て準備が整い次第、施工に着手している。

マンホール蓋の更新に新技術導入を

問／他市では、マンホール蓋の更新に新技術を取り入れ、施工時間の短縮と1日当たりの施工数を多くすることにより、市民生活への負担軽減と業務の効率化を図っている。当市における新技術に対するの考えを聞きたい。

答／昨年度から高田地区において、試験的に新技術導入の取組を始めた。市としては、マンホール蓋の更新に当たって、交通規制による住民生活への影響に配慮しながら、従来工法と新技術工法との優位性や費用対効果など、当面の間、検証していきたいと考える。



高田城址公園の桜、蓮を背景にハクチョウとコクチョウが泳いでいるデザイン